

KABANETへのアクセス

<https://www.kabanet.org/>

ID:KABA (半角大文字)

PW:2019 (半角数字)



くらしの相談検索システム

<https://consultation-of-living.appspot.com/>



みよし市議会議員

わたなべいくお

一般質問 QR



「住んでよかった」と思える みよし市 を目ざします！



わたなべいくお

くらしの相談

担当者レポート No.26

わたなべいくお の主な取組み

笑顔がいいじゃん！みよし市



発行日：令和3年10月27日

発行所：トヨタ自動車労働組合

発行人：鬼頭 圭介

編集者：渡邊 郁夫

印刷所：（株）トヨタエンタープライズ

共栄カンパニー

*進捗状況：100%:実現、75%:実現に向け実行中、50%:実現に向け計画中、25%:調査中、0%:動きなし

大分類	取り組みテーマ	テーマに対する取り組み内容	進捗状況
 安全に生活できるまち	防犯対策の推進	全小中学校防犯電子錠の設置	50%
	自然災害対策の推進	防災情報の伝達機能強化	50%
	災害時の 在宅避難者支援	次世代自動車の補助金見直し 1台/年人	100%
 子どもを安心して 産み育てられる環境	待機児童の無い 保育サービスの維持	待機児童の無い保育サービスの維持 	75%
	放課後児童クラブの延長（19時まで）	放課後児童クラブの延長（19時まで）	100%
	きめ細やかな 教育環境の推進	小学校専科教員の配置	75%
 環境に配慮した 快適なまち	充電インフラ整備推進	次世代自動車充電インフラ設備増設 (次頁参照)	75%
	 循環型社会の推進	リサイクルステーション増設	100%
		プラスチック製容器梱包計画回収	100%
 活力のあるまちづくり	新規産業の誘致推進	企業立地促進条例制定	100%
	地域共生社会の推進	子ども食堂活動の環境整備	75%

活動の振り返りの詳細はこちらです。

CHECK

<https://www.kabanet.org/members/library/2021/10/b917f996d4ba0b89cb158e6a18a4068c.pdf>



9月議会は、皆さま方からのご提言に基づく一般質問に注力。今回のレポートは、一般質問や
令和4年度政策要望提出について報告させて頂きます。（次頁参照）

<一般質問> カーボンニュートラルみよしの実現に向けて

《質問主旨》 市内には自動車関連の中小企業が多くあります。大手企業においてはカーボンニュートラルにむけた自動車の電動化への転換が進められており、この電動化によって車の部品点数は3割減るとも言われており、市内の中小企業の経営に影響が出ることが予想されます。カーボンニュートラルを進めるための企業支援や環境負荷を小さくできるリフォームをする市民に対して経費の一部を補助し地球温暖化防止行動を協働で行う必要性について質問しました。



1. カーボンニュートラルの取組みについて

Q: カーボンニュートラルの技術革新を進める市内の企業や産業転換する企業への支援をどう考いるか。

A: 工業経済会や商工会と連携を図りながら、**カーボンニュートラルに向けた企業支援を検討してまいります。**

Point!

製造業における技術やCO₂排出減の製品への変革に乗り遅れると、**企業の雇用・維持や存続に大きな影響をもたらす**ことが考えられ、市としても危惧している。

Q: 住宅・建築物の省エネ対策を強化し断熱改修や省エネ設備導入時、市民に対し積極的に補助支援してはどうか。

A: 全庁的に実施する**補助金の見直しの時期に合わせて、検討してまいります。**



環境負荷を小さくできるリフォームをする市民に対して**経費の一部を補助し地球温暖化防止行動を市民協働で行うべき。**

Point!

国は、全国に充電インフラを現在の2倍の15万基設置しガソリン車並みの利便性を実現することを目指すとしており、愛知県は、車両の普及を支える充電インフラ、水素ステーション整備の拡充をすることとしています。国と県とも充電インフラ整備に取り組んでいます。



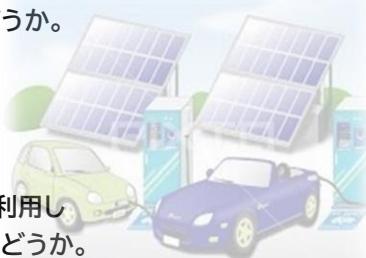
Q: 国・県の充電インフラ整備の考え方はどうか。

A: 国は、充電インフラを15万基設置し、**電動車を遅くとも2030年までにガソリン車並みの利便性を実現すること**を目指すとしており、愛知県は、車両の普及を支える充電インフラ（充電インフラ、水素ステーション）整備の拡充をすることとしています。

2. 次世代自動車の充電インフラ整備について

Q: まずは不特定多数の方が立ち寄る公共施設（サンライブ・サンアート・市民病院等）には優先的に設置するべきだと考えるがどうか。

A: 今後、電気自動車等の**普及促進の一助となる充電インフラの整備を検討してまいります。**



Q: ソーラ発電等再生可能エネルギーと蓄電池を利用してグリーンエネルギーで充電できるよう検討してはどうか。

A: 充電インフラの整備時には、再生可能エネルギーと蓄電池の併用も併せて検討してまいります。

Point!

市内一般開放型の充電設備は13ヶ所 14基で自動車販売・修理関係で9基、商業施設1基、コンビニ1基です。行政が設置した場所は2ヶ所3基のみ。国・県同様に充電インフラの整備促進とグリーンエネルギー化が必要。



令和4年度に向けた政策要望を提出しました。

来年度予算編成に余裕を持って予算編成に取り組んでいただくため、定例会開会前の8月20日に行いました。過去からの提言内容や新たな皆さまからの要望提言を取りまとめ、8分野 29項目を市長へご説明し要望しました。

今後も、市民の福祉向上の取組みを行い「住んで良かったと思えるみよし市！」を目指し議会活動、委員会活動でフォロー、活動してまいります。



中央 小野田市長・右2番目 渡邊郁夫

くらしの相談担当者は**皆様の身近な存在**で、どんな小さなご意見にも耳を傾けます。